

## ◆『時代劇のまち近江八幡』体験記◆ ～侍姿に紛争して～

村井 達郎

昨年2019年11月23日の『時代劇のまち近江八幡』に参加致しました。実は最初、あまり気乗りしなかったですが、ガイドもさせて頂いて若干度胸も付いたし、何も世間体を気にする必要もない身、失うものも何も無い。せっかくのチャンス！何事もチャレンジ！という事で、参加に至りました。

さて当日、10時半前に白雲館に集合11時からというのに、もう衣装に着替えて白雲館玄関で待機しているベテランがいるじゃないですか！慌てて2階の着替えの部屋へ。衣装はかねてから頼んでいたサムライ姿。上背の有る私に合うのはこれだけ。急いで上がっても私1人では何もできず、着付けの人に結婚式以来約40年ぶりの袴を着付けていただき、刀を携えていざ白雲館玄関口へ。そこには若い女性の森蘭丸さんがおられる。これ幸いと早速ツーショットをお願いする。今回、信長隊安土衆の方々にも参加していただきその一員という事らしい。11時に全員が白雲館前に集まり、エイエイオーで記念撮影。その後、サムライ、町人達は八幡堀界限へ繰り出し、信長隊はロープウェーで八幡山城の警護につき、互いに街を盛り上げました。

今回の参加者は、他にも富山からの新撰組もおられ、翌日は京都太秦映画村へ乗り込むという威勢の良さ。また、一昨年から近江八幡観光物産協会『公認おもてなし侍』の島左源太さんにも登場いただき、盛んに八幡堀の船の上でポーズ。私も負けじと観光客と一緒に写真撮影。歩いていて「良く似合ってますよ」と冷やかされながらも、なにか気持ちがいい。

最後にガイド仲間の写真を撮って頂いた信長隊甲冑姿の人が、実は近所の人だと翌日知り、どこに武士とか町人が潜んでいるかわからない『時代劇のまち近江八幡』の1日でした。

## ◆観光紙芝居「秀次さんと近江八幡」・「白鷺の恩返し」の2本上演◆ ～大奮闘 紙芝居チーム～

出口 博之

11月23日に秋の「時代劇のまち近江八幡」のイベントが行われましたが、我が紙芝居チームも春に続いて参加いたしました。

当日は、紙芝居を白雲館の1Fで行いましたが、たくさんの方々に見ていただいて、盛況でよかったなと思っています。

今回は、当日都合のつく演者が少なく、「秀次さんと近江八幡」と「白鷺の恩返し」の2本に絞って上演しましたが、熊木さんのほかにも多くの演者を増やしていきたいと思っています。

当日は、当方は午後にガイドがあり、火消しの扮装をして町案内をしました。まだまだガイドの中でも扮装をする人が少なく、もっと盛り上がるようになればいいなと思いました。その一助として、また来年も引き続いて参加して盛り上げていけたらなと思っています。紙芝居チームの皆さん宜しくお願いいたします。



“時代劇の町 近江八幡”で和服姿に扮装しました



紙芝居大盛況！  
紙芝居上演を熱心に観る観光客の皆さん